

Volume.033

徳山大学校友会誌

とくだい



発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内

TEL/FAX 0834 (28) 7454

発行日
平成21年3月20日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 小坂 稔



◆大学グランド全面人工芝へ

平成20年春、約3ヶ月の工期を経て大学グランドが、人工芝のグランドに生まれ変わりました。施工した人工芝は最新のもので、スライディングなど行っても火傷などを起こすことの少ない素材となっています。主に体育の授業、サッカーやラグビーの練習で使用されています。地域の子供たちのサッカー教室や高校生のゲームなども行われ、徳山大学の新しいシンボルとなっています。

平成 19 年度一般会計決算並びに平成 20 年度 一般会計予算報告

平成 20 年 6 月 21 日ホテル・ザ・グラマシーにおいて平成 20 年度評議員会が開催され、平成 19 年度の決算報告及び平成 20 年度予算審議が行われ、承認されました。

平成 19 年度一般会計決算 (単位:円)

収入の部

| 科目 | 予算額 | 決算額 |
|--------|------------|-----------|
| 前年度繰越金 | 3,864,622 | 3,864,622 |
| 会費収入 | 5,630,000 | 5,400,000 |
| 雑収入 | 40,500 | 4,644 |
| 事業部繰入金 | 500,000 | 0 |
| 計 | 10,035,122 | 9,269,266 |

支出の部

| 科目 | 予算額 | 決算額 |
|------------|------------|-----------|
| 会務運営費 | 3,391,000 | 3,329,953 |
| 部費 | 2,900,000 | 2,661,762 |
| 30 周年記念事業費 | 3,703,489 | 1,009,477 |
| 予備費 | 30,000 | 0 |
| 次年度繰越金 | 10,633 | 2,268,074 |
| 計 | 10,035,122 | 9,269,266 |

平成 20 年度一般会計予算 **9,338,574 円**

評議員の役割と選出について

平成 21 年は評議員の改選期にあたります。校友会の諸活動は、卒業生の方の中から、職場単位や地区単位、またクラブ単位で組織する同窓会と各期別の代表の方で運営しています。この代表の方たちを評議員といいます。

◆ 1. 評議員の仕事内容

毎年 1 回 6 月に行われる評議員会に出席いただき、この中で、活動方針や、予算・決算、また事業内容について審議を行っていただきます。

◆ 2. 評議員の選出方法について

評議員候補者選考委員会より、これまで校友会評議員の方にはご案内を差し上げ、各団体の卒業生名簿並びに評議員として推薦される方の名前を

記載した書類を提出いただきます。

－ 評議員推薦基準－

(1) 1 号議員 (職域)

5 人以上の同一職場の同窓生であること。

(2) 2 号議員 (支部及び地域)

支部からの推薦のあった人。また支部のない地域においては 10 人以上の同窓生より推薦のあった人。

(3) 3 号議員 (クラブ団体等)

会員が 10 人以上のクラブ団体で構成される同窓生の会より推薦のあった人。

(4) 4 号議員

期別の代表の方またこれまで校友会活動の功労者の方で校友会事務局より推薦のあった方。



新たに評議員を希望される場合は、**校友会事務局**まで

まず、お問合せください。電話 0834-28-7454

卒業してから 00 年



卒業してから皆様は何年になるのでしょうか。あっという間に月日は流れて、もうこんなに時間が過ぎたのかなと感じられる方も多いことでしょう。そんな卒業生の皆様、ここで校友会活動にちょっとお耳を貸してください。校友会は、同窓生相互の繋がりを密にして親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的としています。評議員はこのための役員です。1 年に 1 度の会議は全国から卒業生が集まり、懇談会では懐かしい教職員も出席され、素晴らしい交流の場となり、何より自分自身の活力の源の場となります。この機会に一人でも多くの方が、校友会活動に関心をお持ちいただければと願っています。

◆ 評議員候補者受付中 ◆

< 受付期間 > 平成 21 年 4 月末日まで

大学生活を振り返って

徳山大学教授 中谷孝久

昭和 46 年の創立以来、徳山大学で教鞭をとられた中谷孝久先生が今春定年退職をお迎えになりました。退職を記念して、特別に原稿をお寄せいただきました。

1971 年徳山大学創設時から勤めて 37 年。平成 20 年度で定年退職します。これを機会に徳山大学での出来事の一端を振り返りたいと思います。



大学での教育で一番楽しいことは専門ゼミが持てることです。私の専門は経済分野ですから、

徳山大学に赴任したのは、経済学部であったことによります。講師になって専門ゼミが持てるようになり、しばらくは充実した時間が持てたように思います。最初は 20 人程度の規模で和気藹々とゼミの時間を過ごしていました。

大学設立当初は学生数も少なかったのですが、次第に学生数が多くなり、専門ゼミの教育に共感する学生が増えてきていました。この時、履修した学生がすべて卒論を規定通り提出し、ゼミ論集を発行することができました。これは今でも大切に保管しています。

やがて、ゼミ希望も 20 人を遙かに超え、一時は断ることさえ困難になりました。学生数が増え、ゼミ希望も多く、開講されているゼミ数ではゼミの履修希望の学生を吸収できなくなったことによります。この頃はまだ学生と価値観を共有することができ、ちょうど情報技術の習得が社会的にも課題となっていた時代でした。パソコン教室の整備に当たり、情報技術の教育を進める必要もありましたので、一人も断ることもなく、パソコン教

室でゼミをするという「異常」事態になりました。しかし、ゼミ生は時代の要請をよく理解し、情報技術の習得に明け暮れました。このゼミでは第 2 カフェで「すき焼きコンパ」をした思い出があります。こちらで用意した食材では「すき焼き」ではないと言って、自分で食材を調達し、闇鍋並の大盛りすき焼きとなってしまいました。ほとんど食べ残すこともなく、平らげ、改めて若い食欲に圧倒されました。

その後、ゼミ希望も段々と少なくなり、価値観の共有を感じなくなっていました。合宿もできず、コンパも渋る学生が増えてきました。しかし、しばらくすると、留学生が増えてきて、大学院に進学したいという留学生が研究室のドアをノックし、メールで相談に乗ったり、大学院への志望動機や研究計画を添削する機会が増えてきました。これは本来したいことの一つでゼミ生に限らず応援してきました。その中の二人が昨年と今年修士論文を研究室までわざわざ持参してくれ、記憶に残る出来事となりました。

大学で好きな時期が講義の行われている時期以外に 2 度あります。一つは入学時期であり、もう一つは卒業式の日です。入学式と卒業式に臨む学生の表情が安堵と期待の入り交じった緊張感で溢れるときです。特に、卒業式に臨む学生の緊張感



は表情がキリリと締め、幼さが消え、社会人としての自覚が芽生える瞬間を目撃する

るときは、私の心がホッと和むときでもあります。

最後に、卒業生の皆様が健康に過ごすことができ、人生で充実感が味わえる機会があることを祈念します。

中谷先生のますますのご活躍と、ご健勝を心より祈念申し上げます。—校友会一同—

卒業生の声

延原 誠さん

(株式会社内外総合
通信社代表取締役)私が所属した水泳
部とその仲間たちは
当時、今はもうあり

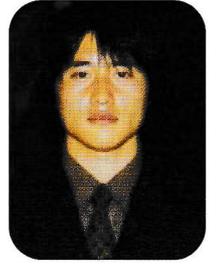
ませんが孝田町の下宿、青嵐荘に毎晩のように集い酒を酌み交わし、近所の方から苦情の電話が大学に入ることは日常茶飯事で大変なご迷惑をお掛けしました。そのまま水泳部OB会水練会に所属し卒業後、16年間、一度も欠かすことなく年に1度、同期や先輩、後輩と青嵐荘当時と変わらぬ宴会を続けています。今年は3月7、8日に京都市で水練会総会が開かれます。九州に住む同期2人と新幹線で岡山から合流し、毎年のことですが、新幹線の中からへべれけになることでしょうか。昨年は福岡市で開かれましたが、福岡市内の記憶は残っていません。場所は関係なく気心知れた仲間と飲む酒は格別です。今年も、学生時代と同じく後先考えず友と飲み明かしたいと思います。

現在、徳山大学のサポーターとして入学アドバイザーという役をお引き受けし、マンガコースを設置した岡山市の専門学校、岡山情報ビジネス学院と徳大の提携を仕事始めに、させてもらいました。専門学校を卒業した学生がより上のレベルを目指して徳大に進んでほしいものです。これからさらに同学院との交流を進めていき、また岡山地区の情報拠点として母校と関わっていければと考えています。

17期卒・岡山市在住 延原さんは卒業後、日本新聞協会加盟地方紙の編集局整理部長、電子メディア室長を経て2005年内外総合通信社を設立されました。独自の新しいスタイルの通信社として堅実に業績を積み、昨年には、経済産業省中国経済産業局2008中国地域 起業家・起業支援家事例集50選でも紹介されました。

井上智義さん(高知市立高知商業高校教諭)

学生時代は陸上部に所属しており、練習が15時~16時くらいに始まることから、教職課程で決まっているものを除き、講義はほとんど午前中にあるものを選択し、両立できる態勢を作っていました。このことから、4年間クラブの寮生活だったので、講義以外で学校にいる事は少なく、クラブばかりの印象が残っています。



特に印象に残っていることは、やはりクラブ活動で、4年の時の全日本インカレで決勝に残れたことです。あのレースは予選・決勝ともに今でもレースしているかの如く思い出せるほど強く印象に残っています。陸上部は1つ下の学年が非常に強く、後輩に励まされ、背中を押してもらいながら練習した結果のことで、周りの部員に非常に感謝しています。

大学を卒業してすぐに出身県の高知に戻り、現在、高知商業高校にて教師として勤務させていただいております。3年間講師をした後採用となり、授業に部活指導にと日々楽しく勤務しています。自分がやってきた陸上競技を通して、生徒の人生が開ければと思いますし、可能なら徳山大学に進学し、さらなる可能性を見出してもらえたらと思っています。

30期卒・高知市在住 井上さんは在学中、陸上競技部で主将として、全日本大学駅伝に出場しチームを牽引しました。この時代の井上さんのチームメイトには、現在も現役アスリートの上野剛さん(29期卒・JFE)や竹安昌彦さん(29期卒・中電工)また、箱根駅伝にも全国選抜チームとして出場も果たした白濱三徳さん(31期卒・中国電力)などがおり、徳山大学陸上競技部駅伝黄金時代のメンバーのひとりとして活躍されました。

ちょっと懐かしいあの頃へ・・・

Time goes by
懐かしい徳山大学の日々をピックアップしました。



昭和57年頃の校友会喫茶の様子。左は喫茶担当の藤田さんと渡辺さん。藤田さんは昨春より校友会事務局でお手伝いいただいています。飲み物はオール100円、トーストセットも好評でした。

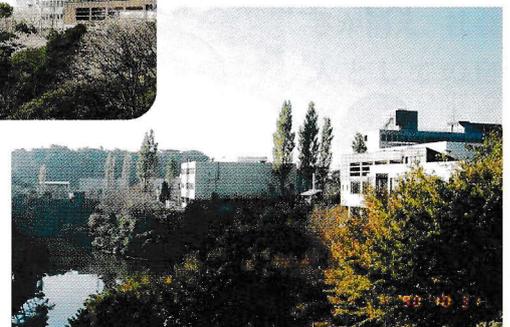


平成10年頃横山先生と心理学研究会のメンバーの皆さん。大学祭では毎年研究発表を行っていました。

平成4年の大学祭キャンペーンのための市中パレード。大学と女子短大合同で、学生数2700名の時代です。



昭和62年のリーダースキャンプ(クラブ団体幹部研修会)写真は講演される当時の佐原学生部長。このほかにも、学生団体のためのインストラクターズキャンプやクラブ新入生研修のフレッシュマンキャンプなど、いろいろな研修が学生部と学生団体との間で、話し合いながら行われていました。



平成2年の大学の景観。手前の池は現在は水が抜かれています。この少し後の時期に植えられた桜の木が現在では、素晴らしい景観を見せてくれます。

とくたいインフォメーション

～いまのとくたいをお伝えします～

今年度退職教職員

平成20年度退職をお迎えになる教職員をご紹介します。

中谷孝久先生（経済学部教授・定年退職）

星出品子先生（経済学部教授・依願退職）

岩本 晋先生（福祉情報学部・定年退職）

家根明子先生（福祉情報学部・依願退職）

田中雅信さん（図書館職員・定年退職）

お世話になりました。

阿木耀子さんをお迎えして講演会開催

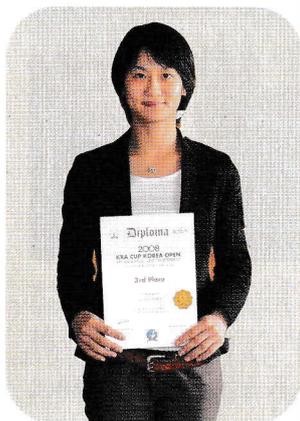


作詞家阿木耀子さんの講演会が平成20年3月23日周南市文化会館で開催され、雨天の中、約1500名の聴衆が詰めかけました。

この講演会は地域文化向上に貢献することを目的として、徳山大学と周南市文化振興財団と徳山大学校友会のタイアップにより毎年行われています。

講演では、ご自身が小学生時から高校時まで、人の前に出ることさえ消極的だったのに、大学に入り、宇崎竜童氏との出会いにより自分も変わり、現在の仕事を手掛けるきっかけとなった話や、人生観などについて話されました。おっとりとした話しぶりの中に、独特のユーモアを交え、終始聴衆をひきつけていました。

快拳 全日本実業柔道で優勝！！



徳山大学柔道部コーチを務める近藤優子さん（31期卒）が平成20年8月に行われた全日本実業柔道個人選手権大会52kg級で優勝し、講道館杯全日本柔道体重別選手権大会に出場しました。今後更なる飛躍を期待したいと思います。

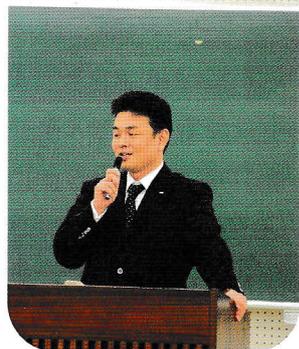
ドイツからのインターネット遠隔授業

ドイツ・エアランゲン大学と徳山大学をインターネット通信を介しての遠隔授業が平成20年12月16日実施されました。これは、今後本学が推進していく情報教育に関する試みの一つとして行ったものです。今回は、研究活動のためドイツに滞在中の経済学部ト部匡史准教授が3年生対象の「教職総合ゼミ」の授業を行いました。授業内容は、教職課程受講の学生ということから、エアランゲン大学附属学校博物館の分室にある所蔵品を紹介しながら、ドイツの学校の歴史や当時の学校の様子を紹介するというものでした。受講学生からは「ドイツの成績評価は絶対評価か相対評価か？」「ドイツの小学校の授業科目は？」といった質問を行い、ドイツから瞬時にその回答を得る場面もありました。学生には外国の教育事情を知る、良い機会となりました。



株式会社ハナテン社長米倉さん(15期)講演

平成21年1月14日徳山大学OB経営者リレー講座が行われました。この講座は在学生により高い就職意識を持ってもらうために、大学と校友会の共催で開催されました。今回の講師は、関西を拠点に中古車販売を主として行っている株式会社ハナテンの代表取締役社長米倉晃起さん（経済学部15期卒）でした。米倉さんは、学生時代から今日に至るまでについて、体験談を交えながら、「人のご縁を大切にすること」「企業が必要とする人材について」など、わかりやすくお



話いただきました。参加した在学生も、会社のトップとして最前線で活躍される先輩のお話を、興味深く聞いていました。

【アーチェリー部】

本年度新設のアーチェリー部で初代部長を務める大迫君。高校の時に先輩の勧めで始めたことがきっかけで、「今では何よりもアーチェリーが好きです」と話してくれました。この競技は30M～90Mの位置から的に向って矢を放ちその精度を争うものと、フィールド競技という、山を歩きながら的を射るゴルフに似た種目などがあります。まもなく学内にアーチェリー練習場も完成され、山口国体へ向けての活躍も期待されています。大迫君自身世界大会に出場できる選手になりたいとのことでした。



徳山大学に新しく生まれたクラブ活動

徳山大学ではここ数年、特色のある新しいクラブの活動が行われています。今回はその中から3団体を紹介します

【女子サッカー部】

女子サッカー部も今年度スタートした新しいクラブです。来年度は単独チームとして出場できるメンバーが揃い公式戦での活躍が期待されています。元Jリーガーの後藤監督と、高校サッカー選手権では、全国大会で準優勝をした経験を持つ田中コーチのもと、はつらつとした活動を展開しています。北京オリンピックでも日本女子サッカーチームの目覚ましい活躍が見られましたが、本学女子サッカーのメンバーも高い目標を持ち、日々の練習に打ち込んでいます。



【知財開発研究会】

知財開発コースの学生を中心に構成されるこのクラブは、知財開発に関するマンガ・シナリオ・映像など6部門に分かれています。今回ご紹介するのは、造形部門担当の原田君の作品です。右上の作品は原田君のオリジナルキャラクターで、粘土を焼いたものです。作品の大きさは顔部分で1～2センチ程度のもので、すべて指先の手作業で造られています。なんとも夢とユーモアに溢れるキャラクター創作です。一度実際の作品をご覧くださいと思います。



レディスラウンジ完成

バンカラの世代の方からは隔世の感がすると思われるでしょうが、昨年学内に女性専用のラウンジが完成しました。トイレ、化粧室、談話室、自動販売機、備えたすべて女性専用の部屋になっています。もちろん禁煙ルームで、女子学生には快適な空間となっています。



徳山大学におけるキャリア支援プログラム

キャリア支援について各大学で様々な形で行われていますが、徳山大学では、4年間通しての一貫したキャリア支援プログラムとして、公務員・教員就職対策基礎講座（1年次・学生受講料免除）公務員試験対策講座（3年次）公務員試験対策直前講座・教員採用試験対策直前講座（4年次）保育士資格試験受験対策講座を、東京アカデミー北九州校と連携して新年度より実施します。特典としまして、一般受講生より、在学生また、卒業生は割安な受講料となっています。詳しくは徳山大学エクステンションセンター事務局までお問い合わせください。

◆お問合せ先 徳山大学エクステンションセンター 0834-28-5566

お便りコーナー

2期 下松市在住 武居 正修さん

徳大卒業して40年近く過ぎましたが、いつも学生生活が懐かしいです。昔は久米とっていましたが、学園台に名前が変わっていました。これからは徳山大学の卒業生として誇りを持って行きたいと思います。

13期 福岡県在住 白土 信彦さん

懐かしい学食の写真ありがとうございます。

14期 広島県在住 角川 光生さん

卒業して、もう20年です。当時学校食堂でいつも食べていた“A定食”が、もう一度食べたくりました。

<プチアンコール>学生会と校友会で行った学食送別会の写真です。懐かしい顔が見えるでしょうか？



22期 岡山県在住 浦田 篤史さん

いつも楽しく校友会誌を拝見しています。私は硬式野球部出身ですが、大学時代の厳しい練習や友人との交流を懐かしく思います。時間があれば、第二の故郷の山口に足を運びたいと思います。益々の徳山大学の発展をお祈り申し上げます。

12期 周南市在住 長田 勉さん

徳山大学も時代のニーズに沿って、進化している様子がよく分かります。これからはOBとして見守っていきたいと思います。

11期 広島県在住 真鍋 重夫さん

いつも校友会誌を送って頂きとても感謝しております。早いもので自分が卒業した年齢の倍の年数が経過しました。今は受験シーズン真っ只中ですが自分の子供も高校受験の真っ最中です。私の時と違い今は競争が激しく厳しい時代になったような気がします！それかあの頃は自分がのんびりしていただけなのかな～？

今回も多くのお便りありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。—スタッフ一同—

<プレゼントコーナー>

山口県名産品です！

たくさんのご応募お待ちしております！

①



②



③



① 梵 日本の翼 純米大吟醸 1名様

岩国市にある地酒製造販売の旭酒造で作られる日本初政府専用機の正式機内酒に選ばれた清酒です。

② 瀬祭純米大吟醸磨き二割三分 1名様

同じく旭酒造の銘酒「瀬祭」JAL国内線ファーストクラスで供されている清酒です。

③ 特撰塩粒うに 3名様

下関市はアルコール漬けうにに発祥の地です。中屋うにに本舗の特選うにをご賞味ください。

プレゼント希望の方

希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、

ご意見・ご感想をお下記の上、

郵送の場合

〒745-8566 山口県周南市学園台 徳山大学校友会

Eメール応募の場合

Kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

◎外れても特別プレゼントを5名様に差し上げます！

※お寄せいただいたご意見・ご感想は誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承下さい。また、個人情報につきましては、プレゼント送付、事務連絡のみに使用させていただきます。

編集後記・お礼

作成にあたり、原稿を快くご執筆いただきました中谷先生をはじめとして、協力いただきました卒業生の皆様ありがとうございました。今後も、心を込めて、校友会活動を続けてまいりたいと思います。

スタッフ 企画広報部長 小坂稔(2期) 中村道陽(11期) 今元英之(20期) 藤田美恵(事務局)
協力 徳山大学・株式会社ザメディアジョン